

けいせん

# 議会だより

第27号

## 議員視察研修（10月16日～18日）

### 千葉県館山市 たてやま

（幼保連携型認定こども園）

館山市では、保育園の老朽化に伴い、施設面で余裕が生まれていた幼稚園の園舎を改修し、合併することが経済面で有利との判断から、幼保連携型認定こども園に踏み切った。



館山市

経費面については維持管理する施設の集約により、重複する部分のランニングコストの削減が図られているが、人件費に関しては、それほどメリットはない。

現在、幼保連携型認定こども園に対して、保護者や地元から高評価が得られている。

### 埼玉県吉見町 よしみ

（介護予防）

吉見町の高齢化率は32.2%（桂川町は34.0%）。将来さらに高齢化が進んでいくので、介護予防に力を入れ、一定の成果が上がっている。



吉見町介護予防施設「悠友館」 ゆうゆうかん

これからの課題として、早めの筋力向上の取り組みや、認知症ケア向上に向け、見守り相談事業の充実があげられる。

介護ボランティアの養成に力を入れ、介護ボランティアによる地域での活動も進んでいる。

# 一般質問 (9月定例会)



柴田正彦議員

## 桂川駅舎建設の経過等について

**問** 桂川駅舎建設予算について、2017年5月と、1年7カ月後の2018年12月の2回、議員に説明があった。2回目の説明で、予算がいくら増加したかの説明がなかったが、当初予算にくらべて、いくら増加したのか。

**答** (小金丸建設事業課長) 当初(2017年5月時点)の試算は8億9664万円。昨年度までに終了した設計委託費を工事協定額に加えた結果、12億7177万円。その差額は、3億7513万円の増額。

**問** 財政が潤沢でない町が、当初

予算から42%(約3億7500万円)の増加を受け入れることは通常ありえない。

**答** (建設事業課長) 確かに額を見れば大きい。適切に実施設計を行ってこれだけの費用が発生した。

**問** 当初計画があまりにもずさん。当初予算からの増額を問題とは思わなかったのか。

**答** (井上町長) JRとも協議したが最終的にはやむを得ないと判断した。

**問** 費用増加は、いつ、どのように住民と議会に説明してきたのか。

**答** (建設事業課長) 2018年12月に議員に説明した。住民には説明していない。

**問** 議員にも十分な説明がなされていない。「桂川町自治基本条例」第19条には「町長等は、政策の企画、立案、実施及び評価並びに見直しの課程について、町民に分かりやすく説明するように努めなければならない。」と書かれている。見直しの課程・結果に住民・議員に説明すべき。

**答** (町長) 今回の経費が安いとは思っていない。しかし、ルールにのっとった計画を作り、議会に提案し、承認され、すでに桂川駅の改築に着手している。

本町の将来のためにはぜひとも必要な事業であると認識している。ご理解を願う。  
住民への周知の必要性は感じている。

**問** 途中経過の説明もなく、3億7500万円もの大幅な増額も説明されていなかった。理解できるはずがない。情報を共有しての論議が必要。

字数制限のために、他の質問については掲載できなかった。



吉川紀代子議員

## 高齢者対策について

**問** 本町では補聴器購入に対する公的な補助制度はどうなっているのか。

**答** (江藤健康福祉課長) 「障害者総合支援法」第76条の規定に基づき、補装具費支給を実施している。

**問** 加齢性難聴というのはコミュニケーションの問題も含め生活の質を落とすし、最近ではうつ病や認知症の原因とも考えられている。

日本の補聴器所有率は14.4%。これは欧米の半分以下で価格が一台当たり平均15万円と高い。

高齢者の社会参加が求められる時代において、是非とも補聴器

購入助成制度の創設を求める。

答（井上町長） 町単独の助成制度実施については、現在のところ考えていない。

### 学校給食の無償化について

問 1952年頃から全国的に完全給食実施が可能となり、給食の目的も「欠食児童対策」から「教育の一環」と変わり、「学校給食法」第2条には「教育の目的を実現するため」と書かれている。学校給食についての見解を求め。

答（大庭教育長） 「教育基本法」や「学校教育法」における「教育の目標」を踏まえるもので、学校教育活動の一環であると認識している。

問 子育て支援や定住しやすい環境づくりに加え、給食を教育の一環としてとらえ、無償化に踏み切る自治体が増えている。

本町でも学校給食の無償化を決定して頂きたい。

答（教育長） 現時点において学校給食の完全無償化という考えはない。

### 国保税について

問 保険税率の統一化を将来的に目指そうとしている政府の動きに対し、本町はどのように対応するつもりか。

答（町長） 県と協議しながら保険者の負担が大きくなるらないように取り組みたい。

問 「国民健康保険法」第77条を適用して、子どもの均等割り減免を実施している自治体が増えているが、本町でも実施を求める。

答（町長） 均等割り減免を行えば国保加入者の税額に大きな影響を与えるので、現状のまま国保特別会計の運営を行う。



大塚和佳議員

### 幼児教育・保育の無償化等の保育行政について

問 無償化等の取り組みは。

答（秦子育て支援課長） 国の取り組みと同じで、特別なことは考えていない。

問 6月議会での町長の回答は、私立保育園新規採用保育士就職準備補助金を実施することのことだったが。

答（井上町長） 12月議会の補正予算に提案し、来年度以降も継続的に行う。

### 買い物・通院バスと福祉バスの今後について

問 「スーパーなかむら」が閉店し、来年は土居に「トライアル」が

開店するが、路線変更を考えなくてはいいのか。

答（町長） 実施に向け具体的な検討をしていく。

### 空家・空地対策について

問 空家と空地の状況と対策は。

答（山邊総務課長） 空家は461棟、そのうち専用住宅等は276棟で、現状把握とデータ化を行っている。また、区長と連携しながら所有者に対して啓発をしていく。

問 空家及び空地等の適正管理に関する条例等の制定は。

答（総務課長） 県内は23自治体、筑豊地区は飯塚市・嘉麻市・田川市・直方市・糸田町で制定。

問 今後、条例や空家バンク等の制定は。

答（町長） 検討していく。



## 自治基本条例の取り組みについて

**問** 今までの取り組みは。

**答** (原中企画財政課長) 条例の趣旨や目的に沿った自治基本条例推進委員会を設置し、報告等は「広報けいせん」に不定期ではあるが掲載している。

**問** 自治基本条例推進委員会の協議内容は。

**答** (企画財政課長) 住民にわかりやすく伝わる取り組みの検証等、住民の主體的な参画が推進されるような意見・提言が行われ、答申として提出されている。今後、ホームページにも掲載していく。

**問** 現在までの取り組みの評価と今後の取り組みは。

**答** (町長) 趣旨に沿って取り組んできたし、今後も継続して取り組んでいく。

## 地域活動の活性化について

**問** 行政として「子ども会」・「婦人会」・「老人クラブ」の今後の取り組みは。

**答** (大庭教育長) 各団体の課題を把握し、団体の活動が活性化するようにしっかりとサポートしたい。

**答** (町長) 各団体は、自主運営していくと共に、担当者との信頼関係が必要である。



下川 康弘 議員

## 災害時の住民への告知方法について

**問** 大雨・台風時に、防災無線では聞き取りにくいのが、他の告知方法は考えてあるのか。

**答** (山邊総務課長) 避難情報等の伝達方法としては、防災行

政無線の他に、町のホームページ・防災メール(まもるくん)・エリアメール・広報車等がある。

防災メール(まもるくん)は、県の防災危機管理局が運営する登録無料の防災情報配信システム。また、エリアメール(緊急速報メール)は携帯電話大手3社が町から配信された情報を、携帯利用者に発信するもので、これも登録は無料。

なお、登録方法などは、後日改めて町報に掲載する。

**問** 災害情報(避難情報・避難場所・河川情報)等を、ケーブルテレビで流せないか。

**答** (総務課長) 町が発信する発令等の情報に限って、ケーブルテレビで流すことは可能だと思ふ。今後ケーブルネットワーク桂川と実施に向けて前向きに検討する。

## 議場の放送設備について

**問** 平成2年、庁舎新築の際に導入された放送設備は老朽化が進んでいるが、何か対策は考

## つぶやき

講道館柔道「孜々道場」は、本町における柔道の振興と、青少年の健全育成という目的を持って、平成24年7月に道場開きを行い、今日まで約7年が経過したところです。

現在では、関係者の皆様のご支援ご協力のおかげで、道場生(子ども)も30人近くまで増え、県内外の大会でも個人・団体共に上位の成績を収めるまでに成長しました。

この7年間、本当に大変な時もありましたが、子ども達の頑張る姿に励まされながら共に成長できた日々でした。

来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。「孜々道場からオリンピックク選手を」という夢が現実となるように日々精進しながら、柔道を通して桂川町と孜々道場の名をもっともっと町外に発信して、町の元氣と賑わいづくりに貢献できればと考えています。

北原 裕丈

えてあるのか。

答（井上町長） 庁舎新築以来、平成18年に議場内録画用カメラの取り換えは行ったが、それ以外の工事は行っていない。

現在は、メンテナンスのための保守点検業務を委託して正常に稼働しているが、老朽化も進んでいることから業者や専門家の意見も聞きながら検討したい。

しかし、全面的に改善するには多額の費用がかかると聞いているので、できるだけ長く使用したいと考えている。



杉村明彦議員

### 福祉バスについて

問 来年春に大型スーパー「トライアル」が開店する。A・B・C・D、どのコースに乗ってもトライアルに行けるようにお願いしたい。

答（江藤健康福祉課長） A・B・C・Dの4コースそれぞれに、トライアルを利用しやすくなるよう

な福祉バス停留所の追加ができるかどうか、トライアルと関係係課である総務課・企画財政課・健康福祉課で検討中。

また、県土木事務所に相談し、県道沿いにバス停留所も可能かどうか併せて検討している。

問 トライアルの駐車場内にバス停を設置できるか。

答（健康福祉課長） 車両及び買い物客の通行により混雑が予測される。そのため、利用者の利便性及び乗り降りの安全性を第一に、バス停を設置できるかどうか、トライアルと検討している。

工事の進捗状況により、バスの乗り入れが可能な状況になったら、現場で実際にバスを乗り入れて、安全面の検証を行いたい。

問 桂川駅から帰ってくる高校生は、福祉バスに乗れないのか。

答（健康福祉課長） 福祉バスは、原則として通学には利用で

きないように基準をもうけている。

小中学生が傷病や家庭の事情により、やむを得ず通学に福祉バスを利用しなければならぬ場合には、教育委員会からの申請により、期間限定等の条件つきで福祉バスでの通学利用を許可した事例はある。

西鉄バスの減便等による町内交通環境の変化もあり、提案の趣旨は十分理解できる。しかし、通学時間帯に学生の乗車が集中し、一般利用者の乗降に支障をきたすこともありうる。現在のところ、高校生の通学利用については考えていない。

○9月定例会の様子は桂川町HP「議会」で、ご覧になれます。

○12月定例会予定  
12月9日～12月17日  
（一般質問は12月17日）

### つぶやき

「日本人より日本人らしい」。日本の伝統文化などを学ぶ外国人を褒め称える言葉だ。

ラグビーワールドカップにおいてもまさに、日本人らしい外国人が日本代表を占めている。リーチ・マイケル主将を筆頭に多くの外国人が日本の代表として活躍している。

最初は日本人が少ないことに違和感を覚えた人も多かったと思う。だが、ルールや選手の気持ちを知ると、外国人が多いことを逆に誇らしく思える。自国のためではなく日本のために、日本のユニホームで戦ってくれている。

日本人が外国人から学ぶ日本人らしさ・・・。  
2020年のオリンピック開催を機に母国を見直し、「日本人の日本人らしさ」を取り戻したいものだ。

【追記】ラグビー選手はビールを必ず左手で飲む。右手は握手をするために!!

下川 康弘



# 9月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	【同意】 全員賛成
承認第2号	令和元年度桂川町一般会計補正予算（専決第1号）について	【承認】 全員賛成
議案第22号	桂川町会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第23号	桂川町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第24号	桂川町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 賛成多数
議案第25号	桂川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する等の条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第26号	桂川町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第27号	桂川小学校トイレ改修工事請負契約の締結について	【可決】 全員賛成
議案第28号	令和元年度桂川町一般会計補正予算（第2号）について	【可決】 賛成多数
議案第29号	令和元年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
議案第30号	令和元年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
議案第31号	令和元年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
議案第32号	令和元年度桂川町水道事業会計補正予算（第2号）について	【可決】 全員賛成
認定第1号	平成30年度桂川町一般会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 賛成多数
認定第2号	平成30年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 全員賛成
認定第3号	平成30年度桂川町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 全員賛成
認定第4号	平成30年度桂川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 賛成多数
認定第5号	平成30年度桂川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 全員賛成
認定第6号	平成30年度桂川町水道事業会計決算の認定について	【認定】 全員賛成
報告第4号	健全化判断比率の報告について	—
報告第5号	資金不足比率の報告について	—
報告第6号	平成30年度桂川町継続費精算報告書について	—

## 【追加議案】

意見書案第1号	少人数学級の推進などの定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2020年度政府予算の策定を求める意見書（案）について	【可決】 全員賛成
意見書案第2号	主要農作物種子法にかわる福岡県独自の条例制定を求める意見書（案）について	【可決】 全員賛成
請願第1号	少人数学級の推進などの定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2020年度政府予算に係る意見書採択のための請願	【可決】 全員賛成